

令和5年度一般会計当初予算編成における財源不足の解消について

1 財源不足の状況

中期財政見通し（令和3年8月策定）では、約73.4億円の財源不足と見込んでおりましたが、予算編成方針を示達した9月時点では、財政調整基金15億円を活用してもなお約101.6億円の財源不足が生じました。

予算編成方針示達後、各部局の要求内容の精査により、予算要求の11月時点では、72.9億円の財源不足が生じました。

（令和4年11月11日時点） （億円）

歳入(※)	歳出	財源不足
1,584.3	1,657.2	72.9

※財政調整基金15億円含む

2 財源不足解消への対応策

(1) 歳出縮減策（主な事業は次ページに掲載）

要求事業費の見直し及び精査等のほか、国の補正予算による国庫支出金の活用による令和4年度2月補正予算への前倒しなどにより、52.2億円（一般財源38.7億円）の縮減を図りました。

（億円）

	歳出縮減額	うち一般財源
① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減	13.3	7.5
② 2月補正への前倒し実施	22.2	6.0
③ 要求の精査による縮減	16.7	25.2
合計	52.2	(A) 38.7

(2) 歳入確保（財源対策）

歳出事業に合わせて市債等の特定財源の活用を図るとともに、市税収入見込の時点修正及び国の地方財政計画の見込等により、34.2億円の財源対策を図りました。

なお、財政調整基金については、34億円を取り崩すこととし、令和5年度末残高は、約94.4億円を確保できる見込みです。

（億円）

	予算要求 時点	予算案	差額	要因
市税	834.1	839.0	4.9	見込の時点修正による
市町村振興資金貸付金	0.0	1.1	1.1	地方債充当残額に充当
地方消費税交付金等	132.4	141.6	9.2	地方財政計画等による
財政調整基金	15.0	34.0	19.0	
合計	981.5	1,015.7	(B) 34.2	

財源不足額72.9億円は、歳出縮減（A）及び歳入確保（B）により解消し、収支均衡した予算を編成することができました。

以上

（事務担当 財務部財政課）

① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減  
市民生活への影響に配慮し、特定財源の確保等に合わせるなど事業の縮減を図りました。

- ・ (学校施設環境整備事業費 (小) )      △4.1億円  
一部の小学校における空調整備
- ・ (藤沢駅周辺地区再整備事業費)      △1.6億円  
藤沢駅北口南北線道路整備事業
- ・ (諸整備費事業費 (小・中) )      △1.3億円  
一部の小・中学校における各改修工事
- ・ (石名坂環境事業所整備費)      △1.1億円  
焼却施設の更新工事の一部
- ・ (スポーツ施設整備費)      △1.1億円  
一部のスポーツ施設の劣化度調査委託

② 2月補正への前倒し実施

- ・ (学校施設環境整備事業費 (小・中) )      △13.5億円  
国の補正予算に伴う小・中学校における各改修工事等
- ・ (遠藤葛原線新設事業費)      △1.8億円  
国の補正予算に伴う葛原第一工区道路築造工事
- ・ (道路施設改修事業費)      △1.1億円  
湘南台駅、辻堂駅エスカレーター改修工事等
- ・ (公園改修費)      △0.8億円  
国の補正予算に伴う引地川親水公園他3公園遊具改修工事等
- ・ (市道新設改良費)      △0.7億円  
国の補正予算に伴う鶴沼29・31号線道路改良工事

③ 要求の精査による縮減

- ・ (介護給付費等事業費)      △1.9億円  
直近の実績等に基づく見込みの精査
- ・ (橋りょう改修費)      △1.0億円  
工事内容の精査
- ・ (障がい児通所給付費等事業費)      △0.9億円  
直近の実績等に基づく見込みの精査